

研究実施のお知らせ

2025 年 3 月 11 日 ver.1.0

研究課題名

島根大学病院緩和ケア病棟における心肺停止から逝去後見送りの時間経過に関する

研究の対象となる方

2024 年 4 月から 2025 年 3 月の間に当院緩和ケア病棟で死亡した方

研究の目的・意義

日本の病院では死亡した患者さんに対して、退院までの間に医療スタッフが哀悼の意を表する習慣がみられます。亡くなられた患者さんを丁寧に見送る行為は死者儀礼であると同時に、メディカルスタッフや御遺族にとってのグリーフケアの一部と考えられています。

葬送儀礼をおこなうことに関しては賛否両論ありますが、一方で、医師の働き方改革が進められています。心肺停止から医師による死亡診断、エンゼルケア（体をきれいにし病院を出る準備をすること）、葬儀業者または家族への御遺体の引き渡しにはある程度の時間がかかり、特に夜間では医師の負担となっています。しかし、死亡診断以降の見送りに医師が関わることによって御遺族の満足度が上昇するのかわかっていません。

このような背景から当院の緩和ケア病棟で死亡した患者さんが、心肺停止からどのような時間経過で病院を出られるのかを調査する研究を計画しました。この研究は医師の働き方改革を考えるうえで参考になると考えています。また、将来行う御遺族の満足度調査にもつながると考えています。

研究の方法

1) 研究実施期間

2025 年 4 月（研究許可後）から 2027 年 3 月 31 日

2) 研究方法

当院の緩和ケア病棟で死亡された患者さんが、心肺停止からどのような時間経過で病院を出られたのか調査します。また、時間経過に影響を与えた因子を調査します。

3) 使用する情報

研究対象者のカルテから次のデータを収集します。

- 1) 死亡時の年齢、性別
- 2) 患者住所（出雲市内または市外）
- 3) 死亡直前の家族の付き添いの有無
- 4) 退院の方法（自家用車・葬儀社など）
- 5) 病院を出る際の医師の立ち合いの有無
- 6) エンゼルケアへの家族の参加の有無
- 7) 死因（癌種）
- 8) 入院日
- 9) 退院日
- 10) 看護師が心肺停止を確認した時刻
- 11) 医師が死亡を宣告した時刻
- 12) エンゼルケア開始時刻
- 13) エンゼルケア終了時刻
- 14) 病院を出た時刻

4) 情報の保存

本研究に使用した情報は、研究結果の最終報告を行ってから 10 年間保存いたします。なお、保存した情報は本研究のみに用い、他の目的では使用しません。

5) 研究計画書の開示

あなたのご希望があれば、個人情報の保護や研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、この研究計画の資料等を閲覧することができますので、お申し出ください。

6) 研究成果の取り扱い

この研究の成果は、あなたのデータを個人情報が見えにくい形にした上で、学会や論文で発表する予定ですのでご了解ください。

研究組織

研究責任者

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 沖本 民生

情報の利用停止

ご自身の情報をこの研究に利用してほしくない場合には、ご本人または代理人の方からお申し出いただければ利用を停止することができます。

なお、利用停止のお申し出は、2026 年 3 月までをお願いいたします。それ以降は

解析・結果の公表を行うため、情報の一部を削除することができず、ご要望に沿えないことがあります。

相談・連絡先

この研究について、詳しいことをお知りになりたい方、ご自身の情報を研究に利用してほしくない方、その他ご質問のある方は次の担当者にご連絡ください。

研究責任者：

島根大学医学部附属病院 呼吸器・化学療法内科 沖本 民生

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89-1

電話 0853-20-2580 FAX 0853-20-2581